

平成24年度事務事業評価シート（23年度実施事業分）

事業番号	04 07 10	中期総合計画主要施策番号	3-01	担当課	部・課	健康福祉部・健康長寿課
事業名	生活習慣病対策事業			内線	2637	
				E-mail	kenko-choju@pref.nagano.lg.jp	
実施期間	H19 ~	根拠法令等	健康増進法、高齢者の医療の確保に関する法律、県健康増進計画			
実施方法	県が直接実施					国庫・県単 国庫補助事業・県単独事業

事業の概要等	目的 (必要性)	「健康長寿No.1の確立」をめざし、生活習慣病予防対策を総合的かつ効果的に推進し、県民の主体的な健康づくりを促進するための施策を展開する。				
	対象	・県民 ・生活習慣病対策に関わる従事者				
	目指すべき姿	・生活習慣の改善、壮年期死亡の減少、健康寿命の延伸、生活の質の向上を目指し、生活習慣病予防対策を総合的かつ効果的に推進し、県民の主体的な健康づくりを促進する。 ・健康増進計画の推進により、一人ひとりが「自分の健康は自分でつくる」という意識を持ち、生活習慣の改善に取り組めるよう、県民に向けての普及啓発活動を行う。 ・質の高い保健指導実践者を育成し、県及び関係機関が連携して健康づくりに取り組み、計画的・効果的に県民運動を実施する。				
	事業内容	・人材育成・資質向上(指導者育成、生活習慣病予防のための健診・保健指導従事者への研修会開催) ・受動喫煙防止対策の推進(喫煙防止教育及び啓発、終日全面禁煙施設の認定)				

事業コスト	区分	単位	22年度	23年度	24年度(当初)	23年度事業費の主な内訳 報償費184 旅費187
	最終予算額 (A)	千円	1,252	1,164	116	
	決算額 (B)	千円	906	1,252		
	B(H24はA)のうち一般財源	千円	753	582	58	
	概算人件費	人	2.20	2.00	2.00	
	概算事業費 (B(H24はA) + C)	千円	19,203	17,768	16,632	

事業実績	成果指標・活動指標内容	単位	22年度	23年度	24年度(見込)	左記以外のH23年度実績 健康づくりに関する月間を活用したり、関係機関と連携し特定健診の受診勧奨、生活習慣病予防のための普及啓発を行った。 職員が、飲食店、特定給食施設等へ出向き、たばこの害と禁煙、分煙の協力について直接訴え、たばこの害のない社会の推進を図った。 (効率指標 算出式) 研修会開催経費/研修会開催数
	特定健診・保健指導研修会(活)	回	25	24	12	
	「おいしい空気の施設」認定数(累計)(活)	件	817	835	1000	
	<効率指標(単位当たりコスト等)> 1研修会あたりの開催経費	千円	15	15		

事業の成果	事業の目標(H23)	事業成果・評価				評価区分
	生活習慣病予防対策を総合的かつ効果的に推進し、県民の主体的な健康づくりを促進する。 ・H24までにメタボリックシンドローム該当者・予備群割合を10%以上減少させる。 ・H23の喫煙率を男性・女性それぞれ減少させる。	・保健指導技術の向上のため生活習慣病予防のための健診・保健指導従事者研修会を24回開催し1,159人が参加した。 ・「おいしい空気の施設」が835ヶ所に増加した。 ・喫煙率は男性は減少、女性は横ばいだった。 H16 H22 男 34.4% 28.1% 女 5.6% 5.6% 以上により一定の効果があった。				b 期待どおり

事業の課題	区分	判定・説明				
	事業ニーズの変化	増加	横ばい	減少	判定の説明	保健指導の技術は「健診保健指導のあり方に関する検討会」で求められる指導技術が変化するため特定保健指導従事者に向けた継続的な研修機会が必要
	県の関与を見直す余地	余地なし	当面余地なし	余地あり		
	事業改善(有効性・効率性)の余地	余地なし	当面余地なし	余地あり		

総合分析等	総合分析 (今後の課題、取組方針等)	・健康づくりは、県民一人ひとりが、自ら健康づくりを実践できることを目標に、家庭・地域・学校など幅広い関係者が連携して環境整備を行うことが必要である。 ・特定健診・特定保健指導従事者の資質向上のために最新の知見や指導技術を学ぶ場が必要である。市町村や各保険者の従事者への研修機会の提供を長野県国民健康保険団体連合会等と共同で行っていく。 ・受動喫煙の防止に向けた対策が必要				
	特記事項					